

令和元年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	豊橋市障害者福祉会館(さくらピア)
所在地	豊橋市東新町15番地
指定管理者	豊橋障害者(児)団体連合協議会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
担当課	福祉部障害福祉課(0532-51-2340)
平成30年度指定管理料(決算)	39,668千円
令和元年度指定管理料(決算見込)	35,663千円

項目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書等に基づき適正に行った。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	事業計画書のとおり自主事業(障害児余暇支援事業、スポーツ文化教室事業、避難所体験事業等)が実施されており、障害者の情報収集、生涯学習の場として、障害者の社会参加に役立っている。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	仕様書のとおり、適正かつ効率的な施設管理職員の配置がなされており、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に依り職員研修が実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮者利用施設防災講習会(2019/12/16～12/17、事務長本田) ・衛生管理講習会等業務上必要な講習会に参加。 				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書に基づき「個人情報取扱特記事項」を遵守し、個人情報保護について適正に管理されている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	危機管理マニュアル及び緊急時の連絡体制が整備されている。また、9月に2週間の「防災タイム」を設け避難体験をする等、啓発活動を行っている。				
施設利用状況に関する事項	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者には、公平、平等な対応をしている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して平成30・令和元年度を比較)		平成29年度	平成30年度	令和元年度	比較(R1-H30)
			開館日数	293日	293日	290日	▲3日
			利用者数				
			a. イベント等開催	3,627回	3,469回	3,363回	▲ 106回
b. 延べ利用者数	54,343人	54,575人	52,164人	▲ 2,411人			
【要因分析】 新型コロナウイルスの影響で前年度に比べ、2～3月のイベント等開催が93回減、延べ利用者数も3,477人減となった。							
サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	・東京パラリンピックに向けた障害者スポーツの啓発のため、 <u>ボッチャ教室</u> を開催する等、新しい取り組みにも積極的である。					
利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	<p>利用者アンケート(施設利用満足度) [施設全般について] 大変満足40.6% ほぼ満足58.0% やや不満1.4% 大変不満0%</p> <p>[職員対応について] 大変満足69.6% ほぼ満足29.0% やや不満1.4% 大変不満0%</p> <p>合計 100%</p> <p>アンケート結果を分析すると、大変満足・ほぼ満足という回答が99%となっており、多くの利用者に満足していただいている。具体的な意見としては、館内の季節の飾りつけが明るい気持ちにさせる、部屋使用の際の備品や冷暖房の準備がありがたい、多くの講座企画や避難訓練の実施が素晴らしいなどの意見があった。</p>					

意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応		
		とてもきれいに掃除されている。		—		
		夏休みのプールは、子どもたちも楽しみに利用している。		—		
	トレーニング室の不要なものを片付けて欲しい。		広く使用できるよう整理した。			
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	外の非常階段が暗いという意見に対し、人感センサーライトを取り付けた。和室の障子の張替え希望に対し、利用者と職員で協力して張り替えた。				
管理経費等の収支状況等	経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に実行されている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。			
	経費等の収支状況	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。	概ね収支計画書通りの収支状況となっている。			
		収支計算書	収入の部		支出の部	
			指定管理料	35,663千円	指定管理事業費	33,727千円
			利用料金収入	0千円		
			自主事業収入	0千円		
その他収入	0千円					
		収支差額		1,936千円		

指定管理者の自己評価	<p>スポーツ文化教室は、新企画としてポッチャ教室を開催した。平日、日曜コースを開催。重度の障害者も参加できるので好評だった。パン教室も平日と日曜コースを開催。様々な世代や障害種別の人が参加できるように企画した。教養講座事業は一般の方も参加可とし、障害者との交流の場を提供した。市の出前講座で豊橋市の魅力的な施策や話題を提供し、豊かな生涯学習と憩いの場として発展させるとともに、市の事業にも障害者が参加しやすくなるようなつながりができた。避難所体験は、「防災運動会」を実施。障害者防災の意識の向上につなげることができた。防災タイムは、80グループ625名の参加があった。親子防災は、工作とポッチャを実施。防災活動については報告書を作成し、参加者や関係各所に配布した。「あいち人権啓発イベント」で、さくらピアの防災活動を報告した。3.11を忘れない集いは中止となり、職員対象の消防訓練のみの実施となった。春こいまつりも、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止になった。建物管理について、老朽化している建物の丁寧な点検と清掃を、来館者が気持ちよく使えるロビーには季節感を出すように心がけている。全体的には、指定管理以前と比べ明るく入りやすいと言っただけである。</p>
------------	---

総合評価	<p>利用者数については、新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止等の影響で通年では前年度より減少したものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の4月～1月の10カ月間では前年度を上回ったことは評価できる。</p> <p>また、東京パラリンピックを見据えて新企画としてポッチャ教室を開催する等、施設の目的にかなった取り組みが実施されている。</p> <p>施設の管理については、利用者が安心して使えるよう職員が安全点検を実施するとともに、ロビーに季節感を出すよう心掛けたり、良好な施設管理が行われている。施設の老朽化に伴う故障等が散見されるので、引き続き適切な点検に努めるとともに、市と指定管理者が連携し、限られた予算を有効に活用した修繕を実施していきたい。</p>
------	--